

＜その他、取組に特徴のある事例＞

○都市と田舎の交差点 住んでよし かてーり※の里川の口

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮崎県東臼杵郡椎葉村 ひがしうすきぐんしいばそん 川の口 かわのくち				
協 定 面 積 11.7 ha	田（82%）	畑（18%）	草地	採草放牧地	
	水稲	野菜			
交 付 金 額 211 万円	個人配分			70%	
	共同取組活動 (30%)	集落の各担当者の活動に対する経費			5%
		集落マスタープランの将来像を実現するための経費			1%
		水路、農道等の維持・管理等に要する経費			2%
		農用地の維持・管理活動に要する経費			12%
		環境整備、機械購入等積立			10%
協定参加者	農業者 22人			開始：平成12年度	

2. 取組に至る経緯

川の口集落は、熊本県境の急峻な九州山地の中に位置しており、耳川の最上流にある。みみかわ椎葉村内の他の集落に比べ、比較的傾斜の緩やかな農地が多く、1戸あたりの水田面積が多い地域である。

しかしながら、農地の基盤整備率は低く、その多くが生産条件の悪い農地である。併せて、担い手不足や農業者の高齢化が進行しており、農業生産活動や農地の多面的機能の維持を今後どのように進めていくかが大きな課題となっている。

このような状況を改善する手段の一つとして、平成12年度から中山間地域等直接支払制度に取り組み、農地の維持と集落活性化に向けた活動を行っている。

3. 取組の内容

平成12年度に集落内農業者の農業機械に対する負担軽減と耕作放棄地対策を目的として、機械銀行の整備を行うとともに、農作業受託組合の設立を行った。また、平成18年度には集落の農地保全と高齢者対策として、集落営農組織を立ち上げた。

集落営農組織では、都市住民との交流を行いながら集落を活性化する目標を掲げ、集落協定と連携して体験交流を実施している。しかし、これまで集落近郊には宿泊施設がなく、来訪者は素通り状態となっていたことから、より一層の都市交流を促進するため、平成21年度に集落内に農家民宿3軒を開業し、グリーン・ツーリズムの更なる展開を図りつつ、集落内外の若い後継者に対し、農村の魅力を発信している。

また、民宿開業に伴う集落への来訪者数の増加は、集落住民の意識改革にも繋がり、耕作放棄地の発生防止に向けた取組の強化や、景観作物の植え付けに際し、ガーデニングアドバイザーを講師に招くなど、自分たちが集落を守っていくという意識がより一層高まっている。



【都市住民との体験交流（ソバ蒔き）】

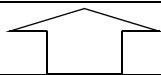


【開業した農家民宿】

※かてーり 古くから行われてきた互助共働の仕組みのこと

【集落の将来像】

- 集落営農組織と連携し、集落ぐるみで農業生産活動を行う。
- 農業機械・農作業の共同化を一層進め、面積の増加を行う。
- 整備した加工場を利用し、地場産物の開発と商品化を目指す。
- 都市住民との交流や農作業体験を実施し、グリーン・ツーリズム観光の確立や、新たな担い手の確保を目指す。



【将来像を実現するための活動目標】

- 協定内の水路や作業道について、協定参加者全員による清掃・草刈りを実施し、農業生産活動体制を維持する。また、景観作物の作付けや都市住民との交流等を通じ、豊かな自然環境の保持に努める。

【活 動 内 容】

農業生産活動等	多面的機能増進活動	農業生産活動の体制整備
農地の耕作・管理（田10ha） 個別対応	周辺林地の下草刈り（年1回） 個別対応	機械農作業の共同化（農業機械・農作業の共同利用を増加させる） 共同取組活動
水路・作業道の管理 ・水路年2回 清掃、草刈り ・道路年2回 草刈り 共同取組活動	景観作物作付け（景観作物として農道にシャクナゲ、水仙を作付けた。） 共同取組活動	農業の継続が困難となった農用地が生じた場合に備え、サポート体制を構築する。 共同取組活動
農地法面の定期的な点検（随時） 共同取組活動	農作業体験・農家民宿開業による都市住民との交流の充実	



集落営農組織（川の口営農組合）との連携

- 集落内の農家が農作業が継続できない場合には、集落営農組織と連携を図り、農業生産活動を継続する。
- 豊かな自然環境を活かしたグリーン・ツーリズム事業を行う。

4. 今後の課題等

今後はグリーン・ツーリズム観光を確立するために、観光業界との連携を強化し、外に向けた情報発信を積極的に行っていく。また、農作業体験参加者や農家民宿に宿泊して交流を深めた都市住民との絆を大事にし、集落のファンづくりを進める。

最終的には、体験から集落内定住に向けた体制整備を行っていく。

【第2期対策の主な成果】平成21年実績

- ・ 農作業体験を通じた都市住民との交流（県内外から132名受入れ）
- ・ 農家民宿の開業（国外2名、県内外137名宿泊、神楽宿として100名受入れ）
- ・ 農業機械の共同利用の推進
- ・ 集落景観づくり（ソバ36a 播種）